

浅井北だより



令和2年 10月号

☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

置かれた場所で咲く

暑さも日ごとに和らぎ、季節は秋へと移ろい始めました。校内では、萩、百日紅、秋桜が可憐な姿で咲いています。新型コロナウイルス感染症で日々心穏やかでいられないときもありますが、植物はそれぞれの季節の中で、芽吹いた場所でいつもと変わらぬ命の輝きを静かに私たちにを見せてくれています。そんな花々の姿を見ていると、修道女の渡辺和子さんのベストセラー本のタイトル「置かれた場所で咲きなさい」という言葉を思い出しました。読まれた方も見えると思いますが、一部引用させていただきます。



「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。自らが咲く努力を忘れてはなりません。雨の日、風の日、どうしても咲けないときは根を下へ下へと伸ばしましょう。次に咲く花がより大きく、美しいものとなるように」

今この瞬間は、大人にも子どもにもかけがえのない時間です。子どもたちがそれぞれの花を咲かせられるように、学校では「チャンス」の水をしっかりと与え、「自ら考えること」「思いやり」の根をしっかりと育てていきたいと思えます。

「今は、チャンスの時」



野外教育活動・修学旅行説明会では、保護者の皆様に多数ご来校いただき、ありがとうございました。10月には「校外学習」「野外教育活動」「修学旅行」が予定されています。各学年では新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら、子どもたちが楽しみ、心に残る時間となるよう知恵を絞っています。学年で工夫をしながら準備を進める子どもたちの様子を見て、今まではあたり前に行っていた行事も、子どもたち一人一人にとっては大切なチャンスの時間であると再認識しました。行事を通して、仲間との輪を深めること、新たな経験をすること、家族を中心とした自分を支えてくれる人への感謝の心をもつことの大切さを育てていきたいと思っています。ご家庭の皆様には、準備等、お願いすることはばかりになるかと思いますが、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



【手縫いで思い思いの作品作り】

つながる♡考える



【ペアで話し合ったことを黒板に書いて交流】



【熱中症指数を書いてお知らせ】